

単元名 ことばを 見つけよう

配当時間 6時間

単元の目標 (1) 身近なことを表す語句の量を増やし、文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。  
(2) 語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。  
(3) 身近なことを表す語句を使った文を書き、語彙を豊かにしようとする。

### 標準的な展開例

01010304\_001

【教材名】 ことばを 見つけよう (下 P.88～P.91)

【準備等】 クイズカード

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 言葉遊びの意味を理解し、□の中の言葉を考える。 ★言葉クイズを作って、みんなで解き合おう。 ○「かばんの □の中には、かばが □いる。」の意味を理解する。 ○教科書 (P.88) の□に、言葉を入れる。  ○「みかんの □の中には、かんが □ある。」の意味を理解する。   ○教科書 (P.89) の□に、言葉を入れる。</p> <p>3～5 「ことばクイズ」を作る。 ○教科書 (P.90～P.91) を見て、「ことばクイズ」の作り方を知る。 ○グループで相談して、「ことばクイズ」カードを作る。</p> <p>6 クイズ大会をする。 ○クイズを出し合う。 ○学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「かばん」の中に「かば」という言葉が隠れていることを理解させる。</li> <li>・「はちまき」の「はち」の部分をまるで囲ませてから□に書かせるとよい。</li> <li>・「いる。」と「ある。」の使い方の違いに気付かせる。</li> <li>・「ある。」は、物が主語になることを確認する。</li> </ul> <p>【評】言葉遊びの活動を通して、言葉には事物の内容を表す働きがあることに気付く「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「すいとう」の「いと」の部分をまるで囲ませてから□に書かせるとよい。</li> <li>・( ) の言葉の中に隠れている□の言葉を考える。</li> <li>・「いる」「ある」の使い分けに注意させる。</li> <li>・必要に応じてワークシートを用意しておくとうよい。</li> </ul> <p>【評】クイズ作りを通して、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書く「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】クイズ作りの活動を通して、身近なことを表す語句の量を増やし、話や文章の中で使い、語彙を豊かにする「知識・技能」を評価する。</p> <p>【評】「ことばクイズ」を作る活動を通して、身近なことを表す語句を使った文を書き、語彙を豊かにしようとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとにブースを作るとよい。</li> <li>・作った文を発表させ、みんなで声に出して読ませる。</li> </ul>

【 備 考 】